

立岩山行報告

【日時】11月30日(土)前泊～12月1日(日)夜

【天候】晴れ

【行程】30日道の駅下仁田にて仮眠

1日 7:00 発→8:30 登山口手前駐車→8:50 登山口→10:30 山頂(休憩)→12:00 威怒牟畿不動→13:30 下山→温泉・食事・帰葉

【参加メンバー】CL 加藤、藺田、村尾、佐藤(美)、秋本(記録)

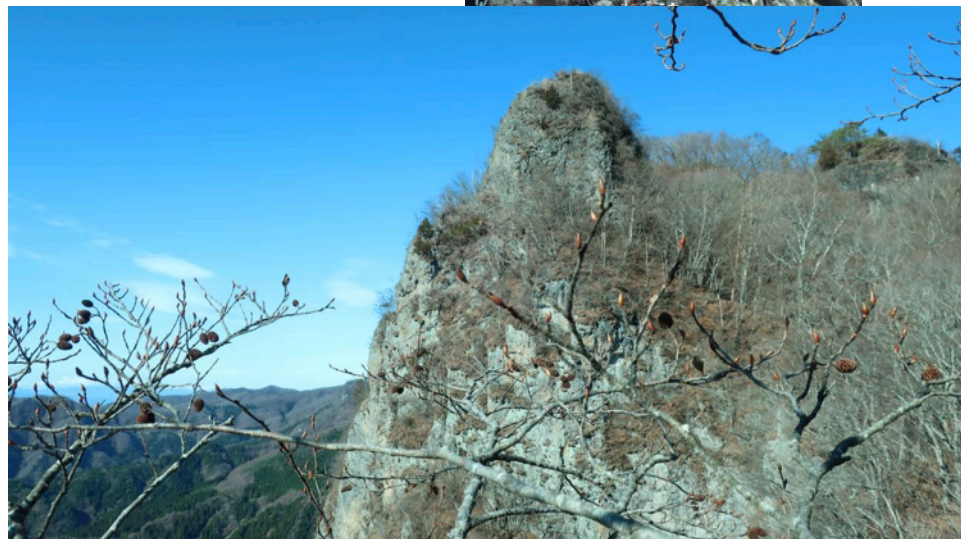
【内容】

立岩、別名「上州のドロミテ」。本名・別名ともに、岩岩した楽しい山で間違いないと期待し定例山行にエントリーしました。

土曜の夕方に千葉を出発し、当初、テントで調理予定が渋滞で遅くなったためSAで食事を済まし、21時ごろには道の駅下仁田でテント設営。食事の準備がない分、のんびりと2時間ほどの宴会でワイン2本を開け、就寝しました。きれいに晴れ上がった西上州の朝はかなり寒く、テントを片付けると手が悴んだ。道の駅の周りは白くなった下仁田ネギ畑だらけ。朝食を済ませて、登山口へ向かう。

登山口のスペースが不安だったため、300mほど手前で停めて歩いた(結果、登山口にも停められた)。先行車は数台。左手に線ガ滝の看板、右手が登山口。滝は元気があったら帰りに寄ることにして登山開始とした。最初の1時間は傾斜もゆるめのお散歩コース。その後、目の前に、最初のころからちらちら見切れていた頂上付近の大きな岩塊がどーんと立ちはだかります。一部、かなり切り立っており、道・鎖はしっかりしているものの、雪がついていたら怖かったかも(右上)。

大きな岩は二つあり、両方登れました。右の写真は1つ目から見た2つ



目。どちらも、裏から回り込む道がついており、前から見たときの迫力からしたら見掛け倒しで簡単に登れます。頂上付近には木製のお地蔵さま。天気が良いので上州の山々や八ヶ岳、北アルプスが見渡せます。加藤先生の解説付き。ぽかぽか暖かく、のんびりした後、下山することに。このときは、この日のメインの岩も終わり、後は下りるだけだと思っていました。

下山開始後 30 分、予期していなかった岩場が現れた。足場がしっかりしているし鎖もあるが、急斜面の上にあるので落ちると大変(↓)。気を抜いていたので驚いた。



その後も、落ち葉を気持ち良く踏みしめて歩く

道だと思っていたら、道は細いし、落ち葉で隠れており、片側は急斜面で滑落できないなど、地味に緊張する場面があった。

そうこうしているうちに、突然開けた場所に出て、目の前には断崖が,,,とよく見ると、ただの断崖ではない。岩壁の途中にお堂があり、さらには上から水がパラパラと。ん?と見上げると、若干かぶった岩の上端から水しぶきが飛び出して

くる。つまり

りは、水量の少ない滝（右の写真,,,伝わりないと思いますが）。でも、見たことのない光景にテンション↑で動画を撮ったり、お堂の前の道まで行って裏から見たり、散々楽しんだ。冬になると、朝は上から氷が降ってきてキラキラ。水が落ちるところにはそれが積もって不思議な景色になるそうです。名前を威怒牟巖(いぬむき)不動



といい、昔は修行に使われたに違いない。下山コースから登って来れば、岩を通ることもないので、冬も来れるかなあなど、再訪希望も。

さらに下って行くと、今年の台風のせいか、道が大荒れ。崩れているから谷に降り、ピンクテープを素直に辿って登山道まで登ると道が途切れており、また谷に降りて踏み跡を探す という作業が 3 度ほど。大量の水で押し流されたのではないかと予想されました。

下りも 2 時間半ほどの行程でしたが、いろいろあって楽しめた。登山口に戻って、細いが勢いのある水が流れ落ちる線ガ滝をちらりと見た後、温泉へ。往路で見つけた、曲がりくねった道の途中の、意外な場所にあった星尾温泉という看板。加藤さんも知らないという。ネットで調べるとまずまずちゃんとしてそうなので行ってみたところ、南牧村の限界集落をなんとかしようという若者が、昔からあった源泉を引いてきて、たちあげた施設だということ。なかなか運営はうまく行っているとは言い難いようですが、とても良いお湯で温まれます。応援したくなる温泉（鉱泉）でした。

温まった後は、道の駅をはしごし、下仁田ネギの天ぷら（←かなりおいしい）などを食べて帰葉しました。

短いコースタイムの中に色々と詰め込まれた、楽しい山行でした。みなさん、ありがとうございました。



以上